学習教材用もも　贈呈式と出前授業の実施

児童にももを贈呈

【実施年月日】

令和５年７月４日（火）１０：４０～１２：２０

【実施場所】

九度山町立九度山小学校（九度山町九度山 1077）

【事業の目的】

県では、食育・地産地消の取組として、平成２４年度から学習用教材や給食として、主要農水産物の提供を行っています。

今回は、ももを県内の国公私立小学校及び特別支援学校２３７校に提供し、皮むき体験や調理実習等を行いました。

併せて、県内７校では農家や県職員が出向き、「ももの生産状況」等について児童に説明する出前授業も実施しました。

【実施内容】

九度山小学校では、５年生を対象にももの贈呈式と出前授業を行いました。

伊都振興局農業水産振興課職員からは、「ももは弥生時代に中国から伝来しました。今、食べているももは、中国とヨーロッパのももをかけ合わせたもので、日本の気候風土に適した独自のおいしいももが作られました」と説明がありました。

ももの生産や歴史に触れた後、「ももの一番甘い部分はどこでしょう？」「ももの花はどれでしょう？」の３択クイズが出されるなど、児童は楽しみながら学んでいました。

その後、児童たちはももの皮むきを体験しました。児童からは「初めて皮をむいたけど、上手にむくことができた」「クイズで、もものおいしい部分を知ることができた」「おいしかったし、自分でももをむいて楽しかった」との声があがっていました。

【今後の展開】

10 月にかきを学習用に、11 月以降にみかん、魚、鯨肉、ジビエを給食用で提供します。

ももの出前授業

ももの皮むき体験